

3年ぶりに開催!! 「田舎まるかじりツアー2022」

当JA青年部主催の食農交流イベント「田舎まるかじりツアー2022」が7月29～31日にかけて開催されました。ツアーには6月の「上京運動」で訪れた小学校の児童と保護者の4人が参加しました。農業について理解を深めてもらうため、山居倉庫や庄内米歴史資料館、カントリーエレベーターなどを見学し、無人ヘリコプターのリモコン操作や米俵を担ぐ体験をしました。また、庄内の自然と触れ合ってもらおうと田んぼで泥んこバレー、海水浴場でのスイカ割り、餅つき体験、バーベキューなどを企画し、地元の児童と一緒に楽しみました。



みどり

2022 No.341

CONTENTS

- 02 組合長が聴く!
- 03 表紙説明
- 04 ニュース&トピックス
- 06 特集 JA庄内みどり産米応援団のご紹介
- 08 営農のしおり/園芸だより
- 09 園芸生産拡大への道/ピックアップアイテムズ
- 10 食材提供で子どもたちの食をサポート!!/きらりかがやけ!女性部
- 11 くらしと福祉/みどりサービス通信
- 12 みんなのふれあいひろば/読者からのおたより
- 13 フルーツパラダイス/手軽に健康手指体操
- 14 クロスワードパズル/シェフ永井のおすすめ
- 15 インフォメーション/理事会だより
- 16 協友アグリからのお知らせ



組合長 法人・地域の方々と時間をかけて方向性を決めなければいけませんね。

飯塚 はい。地域の農家の高齢化を考慮しながら規模拡大を考えていきたいです。

JAへの要望

飯塚 フレコンの助成金を復

所属している法人（ピーンズ本楯）で一本化していくのか、それとも枝番方式で個別に管理するのかというのを検討しなければいけないと思います。

活していただきたいです。私はすでに導入しているのですが、青年部の若手から「フレコンへの助成はないのかな」と聞かれることが多いです。リフトや計量機、ホッパーなども含めると200万円を超えてくるので補助していただけると大変ありがたいです。

組合長 復活して欲しいという声が多く上がっているのであれば改めて検討したいと思います。

飯塚 もう一つは、圃場を均

平にするレーザレベラーの導入です。今後は一農家の抱える農地が大きくなります。その中で少しでも労力を減らし、収量を安定させるためJAでレーザレベラーを取得し、生産者に貸し出すということは難しいでしょうか？

組合長 今、JAでレーザレベラーは所有していませんね。

飯塚 自分で整地するより精度が高く水頭から水尻の角度をつけることができる

ため、収量の向上につながるのではと思っています。作業自体が専門的になるので、農機の職員や営農指導員が操作方法を把握しているとなお良いのかなど。

組合長 導入したことで皆さんが管理できる面積も増えるかもしれませんね！検討したいと思いますが、貴重なご意見ありがとうございます。

飯塚 近年、農業経営は不安定な状況が続いているので、JAからリーダーシップを

とってもらえると我々も安心して農業を続けていけます。よろしくお願ひします。

組合長 皆さんの意見を反映できるように努力いたします。今後ともよろしくお願ひします！

・JAは組合員の「アクティブ・メンバーシップ」の確立を目指しています。

※アクティブ・メンバーシップとは、組合員が積極的に組合の事業や活動に参加することです。JAは組合員の「声を聴き、組合員に評価され愛される事業や活動を展開します。」

・JAは自己改革の着実な実践と情報発信を行っていきます。